

番町の庭、番町の森の地域交流イベントの一覧



2015/11~2022/9
91回の地域交流イベントを開催



広場を使われている皆様を中心に
ご意見を伺いました



歩行者空間について

安全・快適でゆとりある歩行者空間

- ・エレベーターはもちろん、ベビーカー、こどもと並んで利用できる
エスカレーターを備えた駅から番町口のバリアフリー整備
- ・車両の出入口などによる段差や分断がなく、
ベビーカーや車椅子でもスムーズに通行できる歩道
- ・並んで歩いたり、すれ違いが問題なくできる十分な幅の歩道
- ・雨にぬれず地域福祉交通や車などへ乗換ができるロータリースペース

生活利便施設について

生活に寄り添い、暮らしを豊かにする 店舗やサービスの充実

- ・家族や友人と利用でき、まちのサードプレイスとなる飲食店
- ・番町・麴町らしい魅力ある店舗
- ・生鮮食品が購入できるスーパーマーケット
- ・日用品が買い回りができる店舗
- ・気軽に使えるお洒落な会議室

地域交流の場・こどもの遊び場となる 緑豊かな青空広場

- ・ゆっくりくつろぎたい人と、走り回りたい子どもたちと、
同時に多様な人が利用できる番町の庭と番町の森を合わせた規模と機能
- ・子どもたちが安全に遊ぶことができる広場と様子を見守り親同士が憩える
カフェなどが一体となったオープンスペース
- ・番町の庭・番町の森のように毎日の保育園の遊戯時間にも利用できる広場
- ・小さな虫を探したり、小石を持ち上げたり、四季を感じられ、自然に触れ合える
森・散策路・青空広場
- ・ボール遊びや水遊びなどができる広場
- ・住民主体で活用される仕組みと拠点
- ・番町の庭、森の恒久化

オープンスペースはいざという時に 頼りになる場所、災害時の備えとして活用する

- ・目隠しがあり安心して利用できるマンホールトイレの設置
- ・炊き出しに対応できるかまどベンチの設置
- ・電源、充電スポット
- ・防災備蓄倉庫
- ・緊急車両の受け入れ可能な広場
- ・給水車スペース
- ・防災井戸
- ・さまざまな人を受け入れる避難スペース(テント避難)
- ・災害情報の発信・情報連携機能
- ・日常的な避難訓練活動 など

「番町エリアマネジメント検討会(仮)」

背景

エリアマネジメントとは、「まちの価値を維持・向上させるために、多様な関係者が協力して行う取組み」です。番町は、開発の動きをきっかけに様々な方が、自分たちのまちに興味関心を持たれ、地域での活用を前提にした広場などの検討も行われました。この流れをまちづくりに活かしていくために、継続的な推進を目指して考えていく検討会を立ち上げたいと思います。

設立趣意

エリアマネジメントでは、地域の価値向上をしていくために、人をつなぎ・場所をつなぎ・時間をつなぐ活動が求められます。老若男女、居住者・就業者・学生・来街者が集う場をつくり、交流する活動を推進していきます。それらの実現・実行には、コミュニティデザインをつくり、維持していくエリアマネジメント体制が必要です。そこで、検討会を立上げ、一つ一つテーマを設定・検討・実証を通して、関係者のコミュニティを形成し、継続的な運営のための組織化も目指して準備を進めていきます。

2022年度検討テーマ

- ✓ 番町の庭や森のような「広場」について
 - ・やりたいことやってみたいこと
 - ・使い方のルール
 - ・使ってもらうためのポイント
 - ・災害時の使い方
 - ・子どものためのイベント
 - ・交流が生まれる仕組みと仕掛け 等

メンバー(案)

- ✓ 番町居住・就業の有志
(やりたいことがある人)
- ✓ 地元の団体(町会や振興会)
- ✓ 応援企業
- ✓ (必要に応じて)行政